



350ps// シリウスEC1ターボエンジン



ザ・コクピット。これぞ男の仕事場



スツクリと整理されたトランクスペース

スタリオン4WD

第9回ミル・ピストラリーで堂々クラス優勝

三菱ワークス次期グループBラリー車として開発が進められていた「スタリオン4WDラリー」。日本初のフルタイム4WD乗用車として、昨秋東京モーターショーにその姿を現わし、世界的に話題を呼びました。この「スタリオン4WDラリー」が去る7月6日(日)



センターアフにLSD機構のないクワトロ

～8日(日)に開催された、第9回ミル・ピストラリーに実戦テストを兼ねて出場。その結果は、なんと国際ラリーに初出場ながら堂々クラス優勝。

このミル・ピストラリーは、フランスのナショナル・チャンピオンシップラリーの1つであると同時に、「エキスペリメンタル・カテゴリー」(プロトタイプクラス)と称されるF.I.A.のホモロゲーション未取得車が参加できるクラスも併設されており、例年のように世界選手権ラリーに向けての実戦テストの舞台として世界のワークスチームから注目されています。

本大会の出場車両台数は、167台。

「チーム・ミツビシ・ラリーアート」がドラギニオンの町に入ったのは車検前日の5日でした。SOHC2140ccの4気筒ユニットは、350PS。重量は960kg。課題となるフルタイム4WDのパワー配分は、クワトロと同じく50:50、クワトロと異なるのは、センターアフにLSD機構を組んだこと。ドライバーのラッセ・ランビによると「ハンドリングは、クワトロよりはるかに運転しやすい車」という高い評価を得ました。チームマネージャーのアンドリュウ・コーワンは、「ドライバーは、この車なら誰でもいい。十分に走らせることができるから……」と絶賛。



L・ランビ(左) A・コーワン(中) P・クックラ(右)

世界のワークス・チームから熱い注目を集めた、ミル・ピストラリーでのエキスペリメンタル・クラス優勝は、本格的ラリーへの確かな手応えを得たといえます。

ミル・ピストラリーのVTRが完成しました。お近くの三菱自動車の店頭をご覧ください。

'84 CMSC 全国大会が開催されました



8月4日(土)午後4時より、東北サファリアパークレストラン2階会議室にて、CMSC全国大会の総会が開かれました。外川一雄会長を始め全国各支部の代表、(株)ラリーアート代表など76名が参加。顔なじみも増え、なごやかな雰囲気の中に議事が進められ、多くの意見が述べられました。

各地方に点在する地域モータースポーツを組織的に運営しているクラブは、日本ではCMSCひとつしかなく、今後とも楽しいモータースポーツライフを送ることができるようになることがこのCMSCの大きな目的。今後も団結をもって皆さまのホビーをより人生

の中で輝やかなものにしていきたい——という外川会長のあいさつの後、各支部の代表から近況報告が行なわれました。また4月に設立された(株)ラリーアートのゼネラルマネージャー荻氏からは、趣味をビジネスに結びつけ、三菱のモータースポーツをシステムティックに運営していきたい——とのあいさつ。

その後、インタークーラーのスポーツキット新設定部品の説明、(株)ラリーアート・キャラクター商品説明などがあり、活発な質問が飛びかう中、予定の時間も残り少なくなり総会は幕、楽しい前夜祭へと場所を移しました。

1年振りですね
お元気そうで...



CMSC帯広
青沼達也
(会計)



ラリーアートグッズ説明



ラリーアート萩 昌孝氏(マイク)



CMSC札幌
小町 章
(副会長)



CMSC青森
鶴ヶ谷慶市
(会長)



青木科学研究所 青木久治氏



テスト&サービス 宇賀神一男氏



タスカ・エンジニアリング
石黒邦夫氏



CMSC香川
田中昭男
(会長)



CMSC島根
杉坂啓一
(会長)



CMSC岐阜
浅井博孝
(会長)



CMSC岩手
佐々木学
(事務局長)



CMSC山形
小川日出生
(会長)



CMSC福島
菅野 茂
(会長)



CMSC栃木
松本圭典
(会長)



CMSC群馬
荒井信介
(会長)

真夏の夜の交歓パーティ

前夜祭



有名な田嶋選手(左)



にぎやかに、華やかに行なわれた前夜祭。メインは何といっても毎年恒例の仔牛の丸焼きパーティ。食べて、飲んで、話して、笑って……例年のことながら楽しい真夏の一夜は、アツという間に時が流れました。